



町民のひるば

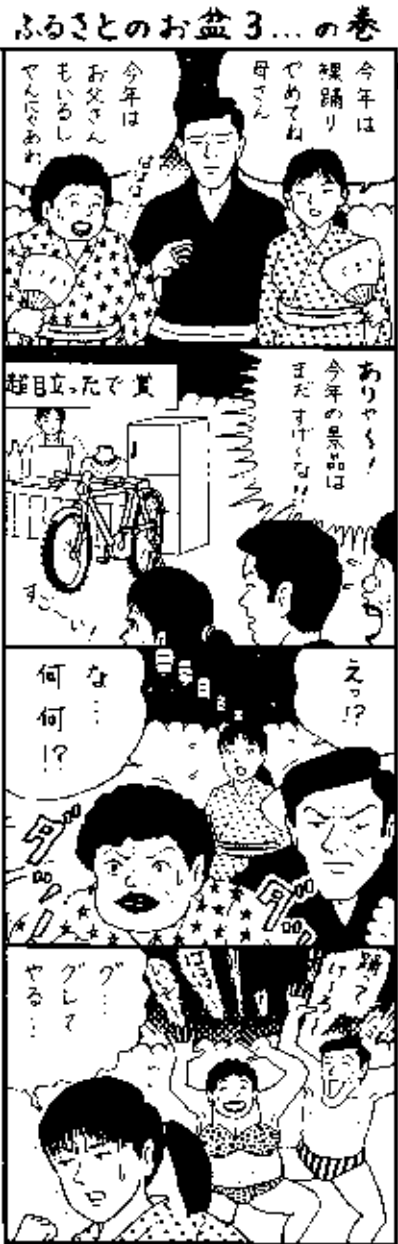
皆さんが参加するコーナーです。耳よりな情報、ご意見、ご質問など気軽にお寄せください。総務企画課広聴広報統計係 内線257



7/1 ミニサッカー大会
7/11 老人スポーツ大会



さわちゃん劇場
(沢口浩 作・画) ⑤1



「支え合う日々」

鳥居さん歌集を発売

「ごまりて 夫に若水 汲みやれば 今年の元氣 貰う氣がして」
鳥居京子さん(63・田の沢)は十三年間丹精込めて作った百五十一首を歌集「支え合う日々」にまとめ、同級生や友人に贈りました。
鳥居さんは、五十五歳から書きためていた作品を、古希を迎える同期会でクラスメイトに配りたいと、会の十日前に思い付きました。
夫、繁二郎さんのリハビリ仲間である中崎和子さん(73・橋場)に手書きでの原稿作成を引き受けていただき、町内の印刷屋



歌集を手にする鳥居さん

さんが急ピッチで仕上げた歌集は二百部。残りはずかです。歌集を贈られた、岩手町を紹介する「かるた」の作者で同町にお住まいの千葉美保子さんは「ご主人の看病に明け暮れながら、苦しみや喜びを生活に重ね、季節の風景、情景から細やかに心情を描かれ、人の心に強く響くものを感じます」と感想を寄せています。
鳥居さんは、コーラスや絵画など趣味も多彩。絵画の腕前は玄人はだし。「これから心にくとりを持って、短歌を続けるつもり」と持ち前の笑顔で話しました。

100歳万歳！星野の鹿糠ツエさん



家族や親せきの人たちの祝福を受ける100歳の鹿糠ツエさん(前列中央)

町内の最高齢者、鹿糠ツエさん(星野)は七月五日、めでたく満百歳の誕生日を迎えました。
同日、中村哲雄町長が鹿糠さん宅を訪れ、祝い金や花束などを贈り祝福しました。また、二女の内藤ツヨミさん(六十三歳・田代)や親せきの人達も駆けつけ、めでたい長寿を祝いました。
ツエさんは明治四十年、旧田部村の触沢生まれ。昨年病気で亡くなった長男源吉さんの妻・ツサ子さんが「わたしが嫁いでから一度も病院に行ったことがない」という病気が知らずのツエさん。「部屋に置いてあるお酒は少しずつ減っているかな」と、耳の遠くなったツエさんに代わって同居する孫のあつ子さんは「こりと長寿の秘訣を話します」。
天気の良い日は広い庭を散歩するツエさん、これからもうすぐ長生きしてください。

わが家のマイドル



外山 瑞希ちゃん
(3歳8カ月・上外川) 昭弘)さん長女 八千代)

人見知りな瑞希ですが、4月から保育園に通い始めました。通い始めてすぐに、オムツが外れトイレに一人でできるようになりました。家ではお兄ちゃんと車やブロックで遊んだり、争奪戦になることもしばしば。優しく、元気に育ってほしいです。 八千代



野中 優一郎くん
(3歳3カ月・日渡) 克則)さん長男 美加子)

体が弱く入退院を繰り返している優一郎。でも、ここ数カ月は入院することなく家族一緒に過ごせる幸せを実感しています。お姉ちゃんが大好きで学校からの帰りを楽しみに待っています。これからも、姉弟仲良く力を合わせていてほしいです。 美加子

ハイ、元気で 160



佐藤 永作さん
(81歳・田子)

トラックの運転手をしていた永作さん。「昔はガソリンもなく燃料はまきや炭。燃料を補給しながら時速30kmのトラックは東京まで1カ月もかかったよ」と笑います。運転手の腕はまだまだ健在で今年も免許更新に合格。81歳になった今日まで無事故・無違反の優良ドライバーです。

5年前に脳梗塞を患いましたが、妻・セツさん(75)の早期発見によりほとんど後遺症も残らず、庭木の手入れや山菜採りを楽んでいます。「妻のおかげとは、言いません！」との永作さん流の奥様への感謝の言葉をしっかり頂戴しました。

ヤング 306



川戸 緋鶴さん
(22歳・四日市)

友達募集中です！

- ◆勤め先は？
「まちの駅くずまき」でレジや事務の仕事をしています。お客様には笑顔で接するように、計算を間違えないように気をつけています。
- ◆自分の性格は？
落ち着きがない。
- ◆趣味・特技は？
読書に無縁だった私が、友達から借りて読んだ本がきっかけで、「Yoshi」「乙」「赤川次郎」の本に、はまっています。(本当です)
- ◆今、一番したいことは？
なんとか「やせたい」。
- ◆理想の男性像は？
私を好きになってくれる人。
- ◆将来の夢は？
どんな形でもいいので、幸せになっていられればいいな。
- ◆最後にひと言。
これからも「まちの駅くずまき」をよろしく願います。皆さんのご来店を三人官女がお待ちしています。